

踏切改良により年間4万人が安全に通行

県道水戸枝川線(水戸市城東)の新町踏切改良



水戸市城東のJR常磐線と交差する新町踏切は、歩道がないため歩行者及び自転車が車道部を通行しており、通行車両との接触事故が発生する等、非常に危険な状況でした。

このため、踏切の整備を行い、車道部の拡幅とともに歩道を設置しました。

この結果、年間延べ約4万人の歩行者・自転車が安全に通行できるようになりました。

